

*短歌は22作品を掲載します

粗板に添ふる掌猫の如くなるみんな花まる親子の料理
三峰の神社への道大杉を見上げつつゆくわが身小さき
猛暑など何処吹く風と走り来る郵便バイク小道曲がりて
異常なる酷暑の続き急激に肌寒となり健康損ねる
歌集読み睡を休めんと妹よりのハガキはさみて葉がわりに
白黒の古いアルバム整理して若き日浮かび一人頬笑む
我が町に縁の選手やり投げで世界陸上沸かせてをりぬ
盆踊り祭りの夜の雨を衝き花火は照らす美の山の峰
逝く蟬に群がる蟻のいとおしくそつと払つて草むらにおく
悲惨なる昭和を生きてあの日より七十年の平和尊し
英靈を迎える度に「海ゆかば」を歌いし記憶いまも悲しき
遠き日の写真手元に見る度に心に染みて若さ伝わる
戦中の敗戦必至神風の零戦ドラマ見て黙禱す
涙ふき覚悟をきめて遺児ふたり見守るために生きて行きた
ドドドンとむねにもひびく大花火ひらいてちつて空をふるわ
麦わら帽ボツンと一つブランコに忘れ去られし雨に濡れお
い昔紅翁の墓参は朝の日課也秩父音頭の盛んを祈る

中村琴江選

投稿数 22 句

また忘れ又辞典引く秋燈火
(評) 燈火親しむ候です。作者は忘れた言葉や漢字をまた辞典を引いて探しているのです。納得できるまで秋の夜を楽しんでおられます。焦りを感じさせない親しみの伝わってくる秀句です。
蜘蛛の句、眼の高さにくもが、やぶれた巣を繕つていたのです。その一途な動作に作者は振り払い通り抜けるのをやめて廻り道をされたのです。童話に出て来るような楽しい秀句です。

皆野 関根 助市

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう



優輝くん
ゆうき
下田野区
久米寿和さん
史枝さん

食いしん坊の優輝☆これからも、元気によくよく育ってね♪



成海くん
なるみ
駒形区
関根 敬悟さん
紗矢香さん

海のようにたくましく広い心の
男の子になってね。



顕けん
斗と
くん

お兄ちゃんと仲良く元気に大き
く育ってね♡

※満1歳の赤ちゃんを募集します。11月号の締め切りは、10月10日(土)まで。ホームページからも応募できます。